

## 第3回クラシックを楽しむ会

2013年9月23日(月) 18:30~21:30

タイトル：歌劇「アイーダ」(ヴェルディ)  
会場等：ヴェローナ野外オペラ・フェスティバル 2012、(2012.6.23)  
イタリア、ヴェローナ野外劇場  
楽団等：ヴェローナ野外劇場管弦楽団、  
同合唱団、同バレエ団  
指揮：ダニエル・オーレン  
演出：ジャンフランコ・デ・ボジオ  
出演：ヘー・ホイ、マルコ・ベルティ、  
アンドレア・ウルブリヒ他



### 歌劇「アイーダ」あらすじ

古代エジプト王国の若き武将ラダメスとエジプトの奴隷で実はエチオピア王女であるアイーダとの恋、そしてラダメスを愛し二人に嫉妬するエジプト王女アムネリスの悲恋物語である。

ラダメスがアイーダの父王率いるエチオピア軍を迎え撃ちに行くことになりアイーダは祖国と恋人の狭間で悩む。最後は二人とも神殿の地下牢に生き埋めにされて永遠の愛を貫く。そしてアムネリスは地下牢の上の神殿でラダメスの冥福を祈り続ける。

### みどころ聴きどころ

「凱進行進曲」で有名な第2幕第2場、派手な「凱旋の場」が最大の見せ場である。しかし壮大なセット、豪華絢爛な舞台とは対照的に、その内容は静かで美しく繊細な感情描写にあふれている。第1幕：ラダメスの「清きアイーダ」、アイーダの「勝ちて還れ」、第2幕：凱旋の合唱「エジプトに栄光を」、第3幕以降の二重唱、合唱など劇的な緊迫感も素晴らしい。

### ヴェローナ音楽祭とその舞台

この音楽祭はイタリア北部ヴェローナにある古代ローマ時代の円形競技場跡(アリーナ・ディ・ヴェローナ)で開催されている世界最大規模の野外音楽祭である。1913年にヴェルディ生誕100年を記念して最初の音楽祭が開催され、歌劇「アイーダ」が上演された。今年はその100周年にあたる。上図は100周年を記念した2012年のポスターである。

通常約16,000人収容可能で、生の声のアリーナに響き渡る。舞台が野外のため、下図写真のように舞台セットは外から運び込まれる。



### 第4回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「カルメン」(ビゼー)

10月27日(日) 18時30分開場、19時上映開始

フランス、オランジュ古代劇場、チョン・ミョンファン指揮オランジュ音楽祭管弦楽団

11月以降「白鳥の湖」(チャイコフスキー)、「魔笛」(モーツァルト)・・・お楽しみに

## アイダ役ヘー・ホイ (和慧 He Hui)

1972 年生まれ、中国陝西省出身。西安音楽学院声楽教授。世界的リリコ・スピント・ソプラノ※歌手。アイダ役でウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ヴェローナ野外劇場など世界の一流歌劇場に 100 回以上出演し飛びぬけて輝く大歌手。他にも「蝶々夫人」「トスカ」などタイトルロール多数。※ソプラノの声質のひとつ。

力強く輝かしい高音域から、豊かな中、低音域を持つ声質。表情豊かな叙情性を持つリリコと劇的な表現に富むドラマティコの声質を併せもつ。



### 「アイダ」誕生の経緯

#### オペラの依頼人はエジプト副王

1860 年代当時、エジプトはオスマン帝国の影響下にあったムハンマド・アリー朝のエジプト副王イスマーイール・パシャが支配していた。彼はフランスの支援でスエズ運河を開通 (1869 年) させ、カイロにオペラ劇場を建設した。その祝賀音楽の作曲をヴェルディに依頼したが断られた。あきらめきれないパシャはパリオペラ座などの支配人・台本作家のカミーユ・デュ・ロクルを通じてエジプトを舞台にした新作オペラを依頼してきた。パシャが用意したのはオーギュスト・マリエットが書いた 23 ページの「原案」であった。



#### 「原案」作者はフランス人エジプト考古学者

オーギュスト・マリエットは当初ルーブル美術館職員としてエジプトに派遣され所蔵品の蒐集に当たった。後に本格的な遺跡発掘のためにエジプトに渡り考古学者として数々の実績をあげ、イスマーイール・パシャに信頼され考古局初代長官になった。オペラの「原案」は彼が発掘したラムセス 3 世治世末期の陰謀と裁判記録およびメンフィス神殿跡から発見した一組の男女の遺骨にヒントを得たとされている。



#### オペラ台本に関与した人達

ヴェルディはマリエットの「原案」をみて作曲を決意、デュ・ロクルがフランス語台本を作成、さらにアントニオ・ギスランツォーニがイタリア語台本にした。この過程でヴェルディと彼の後妻ジュゼッピーナ・ストレッポーニ (「椿姫」資料参照) も深く関わった。彼女は元プリマドンナ、フランス語も堪能で有能なパートナーだった。

#### オペラ作曲と舞台制作

ヴェルディは台本と並行して作曲を進め 4 か月で総譜を完成させた。この間豪華な舞台セット、衣装、ファンファーレ用のトランペット (アイダ・トランペット) を完成させるためマリエットをエジプトから一時帰国させ、パリで時代考証に基づいた舞台制作の指揮に当たさせた。

#### オペラ制作当時のパリは戦争と革命

1870 年暮れにパリで舞台セット、衣装は完成したが、その年の夏勃発した普仏戦争によりパリはプロセイン軍に包囲され搬出不可能になった。ナポレオン 3 世は捕虜となり第二帝政は終焉を迎えクーデターにより第三共和政が成立、年が明けてパリは占領されフランスは降伏した。弱腰に怒った市民が独自の議会選挙を行いパリ・コミュンが成立する。

#### オペラ初演

1871 年 1 月に予定していたカイロ初演が不可能になり 12 月に延期された。遅れによる前評判も相俟って大成功、エジプトの観客は古代エジプト王国の栄光再現に大満足した。

ヨーロッパ初演は翌 1872 年 2 月ヴェルディの母国イタリアのミラノ・スカラ座。アイダ役はヴェルディより 20 歳若い愛人テレザ・シュトルツ。ヴェルディは聴衆の大喝采を浴びた。